

知ってナッ^得

のみんな安心

消防

山菜採りが命取りにならないための準備

防災安全課 地域安全係 ☎・内線 1265
消防防災係 ☎・内線 1261

山菜採りでの事故の発生

県内の昨年1年間の山菜採りに伴う遭難件数と遭難者数は10件12人(うち、市内は1人)で、道に迷ったものが7人、クマに襲われたものが5人です。年齢別では、65歳以上が7人と、約6割を占めています。

山菜取りは、準備や心構えが甘いと危険にさらされてしまいます。次のことを心掛けましょう。

山菜採りにおける注意事項

- ① 家族などに行き先、帰宅時間を知らせ、早出、早帰りを心掛ける。
- ② 万が一に備えて、食料、雨具、ライター、懐中電灯、通信機器(携帯

電話・無線機など)を携帯する。

③ 笛や鈴、ラジオを鳴らすなど、クマよけの工夫をする。

④ 単独で行動せず、山中では声を掛け合い、常にお互いの位置を確認して行動する。

⑤ 山菜採りに夢中になり、山の奥に入り込み過ぎない。

⑥ 山中での発病は、早期の救助が期待できないため、自分の体力や健康状態に応じた、無理のない行動をとる。

⑦ もし遭難した場合、夜間は行動せず、翌朝まで待機し、明るくなつてから行動する。

交通

小学1年の交通事故は5月中旬〜下旬に多い

小学生になると行動範囲が広がり、登下校だけでなく、子どもだけで行動する機会が増えます。新1年生の交通事故を防ぐため、大人が考えることを考えてみませんか。

小学生の交通事故の特徴は?

▼学年が低いほど歩行中の、学年が高くなると自転車の割合が高い(全国の小学生の歩行中の交通事故(平成26〜30年)を見ると、1年生の死者数は6年生の約3・6倍)。



▼5月中旬から下旬にかけて1年生の事故が多く発生している。

▼1年生の歩行中の事故は、横断中に多く起きている。

▼歩行中の死傷者の約4割は飛び出しが原因。

事故防止のために教えること

子どもが安全に道路を横断できるようにするため、次のことをしっかりと教えましょう。

▼横断歩道や信号機が近くにあるときは、そこまで行って横断する。

▼横断する前に「必ず立ち止まる」「右左をよく見る」「車が止まったのを確認する」。

▼信号が青の時も、必ず右左を見て、車が止まっていることを確認してから横断する。

▼横断中も、右左を確認しながら歩く。

大人が交通ルールを無視すると、子どもが真似をします。子どもが交通ルールを守って安全に道路を歩けるようになるためには、大人が手本を示すことが大切です。

この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

耳鳴り、めまい、聴力低下、腰痛症、不眠症、不妊症、月経痛等 お困りの症状を御相談ください

漢方のあさひ薬局

御相談予約専用 携帯からもご利用できるようになりました!

☎0120-204077



本 店/八幡平市大更25-118-1(国道282号沿い) TEL.0195-75-2227
西根中学校前店/八幡平市大更24-1-118(西根病院そば) TEL.0195-70-2311

<http://www.facebook.com/asahi.kanpou>

<http://www.asahi-kanpou.com/>

